

## 牛群検定ビッグデータ（その39） ～ BHB と繁殖成績 ～

牛群検定のビッグデータからわかるいろいろなことを、本コーナーで紹介していきます。

過去2回にわたり、BHB（ $\beta$ -ヒドロキシ酪酸）の特性（分布）について、ご紹介してきました。泌乳初期（60日まで）において、ケトーシスが疑われる0.13mmol/Lが測定された牛の繁殖成績はどうなるのでしょうか。

図1は、泌乳初期に0.13mmol/L以上を記録した牛とそうではない牛の空胎日数を、図2は分娩後初回授精日数を都府県の検定記録を用いて比較しました。また、図3では分娩後初めての検定を行ったときのBHB・デノボFAと空胎日数の関係を表示しています。

分娩直後のBHBが高かった牛・デノボFAが低かった牛は、次産次に向けた空胎日数が長くなっていることがみてとれます。

BHB、デノボFAについて紹介したリーフレット「牛群検定データでより健康な牛群づくりを」では、北海道のデータを紹介していますが都府県でも同様の傾向になっていますので、リーフレットもぜひ参考にしてください。

リーフレット「泌乳初期のBHB・デノボから牛の栄養状態を把握しよう」のURLはこちら！

[https://liaj.lin.gr.jp/wp-content/uploads/2025/05/FAO\\_tohuken.pdf](https://liaj.lin.gr.jp/wp-content/uploads/2025/05/FAO_tohuken.pdf)

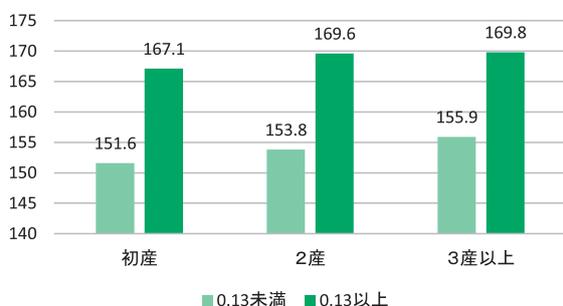


図1 空胎日数

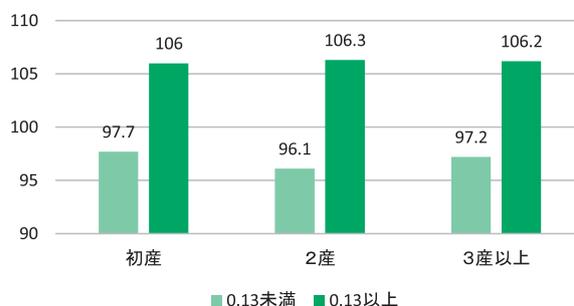


図2 分娩後初回授精日数

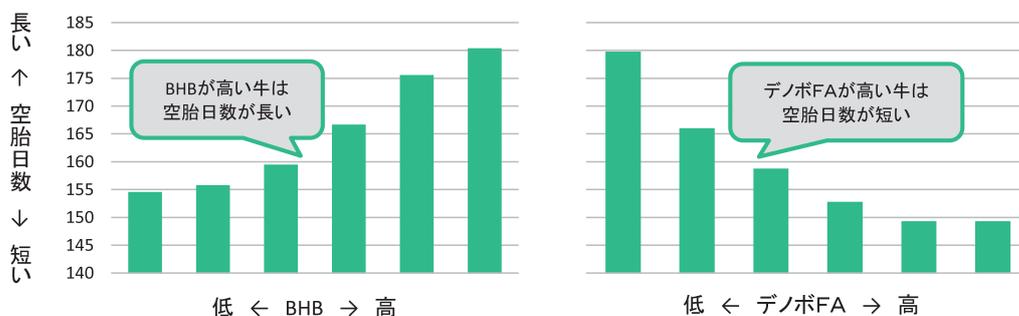


図3 初回検定時のBHB・デノボFAと空胎日数の関係